

編集後記

2021年度半ばには感染者数も大きく減少し、このまま収束するのでは……との期待も抱いた新型コロナウイルス感染症であったが、本年報の編集期間を通じていわゆる第6波の感染拡大が全国を覆い、近畿においてもこれまで以上に感染者数等の多い日々が続いた。昨年度に続いて今年度も、この感染拡大対策のために大学・司書課程の運営も引き続き多くの制約を受けた。図書館ガイダンス・ホームカミングデー、司書課程講演会等の開催は中止となり、また図書館見学ツアーをはじめ、学生たちが遠隔地の図書館等を訪れる機会も設けられずにいる。多様な機会を受講生に提供できない状況は申し訳ない限りであり、今年度は合格体験記の執筆依頼もできない状況となるなど、学生の進路への影響も出始めているのではないかと危惧している。そのように困難な状況の中でもDUALISは活動を続けているが、やはり新入生の参加が少ないなど、多くのサークル活動などと同様の問題に直面しているとのことである。

困難な状況下であるが、今年度も図書館現場演習については昨年度同様、感染拡大が小康状態になった時期でもあったため、希望者については全員、受け入れていただくことができた。感染拡大防止に配慮しながらも実習を受け入れていただいた実習館の皆様には心より感謝申し上げたい。

「私の仕事 この一年」は2021年度、九州大学附属図書館に着任された安田さくらさんより寄稿いただいた。初年度から研修会講師を任されるというプレッシャーの中、やりがいを見出し、経験と自信を得たというお話は後輩の皆さんにとっても参考になることと思う。

また、今号では長年、本学司書教諭課程でご教鞭をとっていただいた家城清美先生に、ご担当科目「学習指導と学校図書館」に関する振り返りをご寄稿いただいた。このような形でご経験とそこからの知見・お考えをご共有いただけたこと、大変ありがたく存じます。

そのほかに今号には2021年11月にご逝去された、図書館情報学コース修了生、阪田美枝氏の追悼記事を掲載させていただいている。阪田さんご本人への感謝については追悼記事中でも述べさせていただいておりますが、掲載にあたって写真掲載の許諾をいただき、また記事のご確認もいただいたご遺族、狩野留香様にこの場を借りてあらためて感謝申し上げます。また、同じく写真掲載の許諾をいただいた八田総長にもお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

2021年度途中から、司書課程関連の業務は免許資格課程センターの山田さんに引継いでご担当いただきました。今年度も例年以上に困難な状況下で様々にご対応いただき、あらためまして感謝申し上げます。また、同じく2021年度は秋学期より、普段、司書課程関連の業務補助をいただいている矢野さんに代わって、月曜日は江藤さん、金曜日は西浦さんに在室業務のお手伝いをいただきました。突然のお願いにもかかわらずご対応いただいたこと、誠にありがとうございました。印刷をお願いしている木村桂文社様、協力いただいた学生諸君にもあわせて、ここで感謝申し上げます。皆様、本当にありがとうございました。

(佐藤翔)